

江東区とうきょうすくわくプログラム活動報告書

施設所在地	東京都江東区大島5丁目30-12
施設名	HOPPAおおじまタウン

1 活動のテーマ

〈テーマ〉

シャボン玉

〈テーマの設定理由〉

・公園にてしゃぼん玉で遊んだ際に、子どもたちから「しゃぼん玉の液を作りたい」と声があり、子どもたちの興味や関心が強いため取り組みました。

2 活動スケジュール

◎5月→子どもたちでしゃぼん玉の液体を作る材料の意見会議。◎6月→食器用洗剤、水を混ぜて液体作り。実践。◎11月→手洗い用洗剤、水で液体作り。実践。◎1月→液体の材料の意見会議。◎2月→洗濯のり、水で液体作り。実践。絵の具の色も入れて実践。◎3月→液体の材料の意見会議。・洗濯のり、食器用洗剤、砂糖、水を入れ液体作り。実験。・しゃぼん玉が膨らみクラスでまとめ会。

3 活動のために準備した素材、道具及び環境の構成

【道具】食器用洗剤・洗濯のり・水・コップ・ストロー・砂糖・手洗い用洗剤 【環境】保育室、庭、公園にて実施

4 探究活動の実践

〈活動の内容〉

『手作りしゃぼん玉液を作って膨らませよう!!』・クラスでどんな材料を使えば作れるか意見を出し合う。・クラスで材料を決定し、実験開始。絵の具を入れてしゃぼん玉を膨らませたり、洗濯のりと砂糖、食器用洗剤を使って割れにくいしゃぼん玉も作ることができ成功できた。

〈活動中のこどもの姿、声、子ども同士や保育者との関わり〉

・公園にてしゃぼん玉で遊んだ際に、子どもたちから「しゃぼん玉の液を作りたい」と声が多く上がった。クラスで会議を行い、どうしたらしゃぼん玉が作れるのか、材料は何を使うのか話し合いを行った。最初の会議では「食器用洗剤が泡が長持ちするからどうかな?」と声があり実験を始めるがうまく膨らまず、再度クラス会議を行う。「水が多すぎた」「違う洗剤はどうか?」と初回の会議で意見を出していなかった子も意見を発するようになり、「家にある洗剤みて考えてみる!」と家庭にあるものを探す姿もあった。クラスの一人が「砂糖を入れるとりんご飴みたいに固くなるみたいだよ」との声と「洗濯のりと食器用洗剤も混ぜてみたい!」の声で実験をし無事にみんなでしゃぼん玉を膨らめせることができた。また割れにくいしゃぼん玉にもなり子どもたちも大喜びだった。



5 振り返り

〈振り返りによって得た先生の気づき〉

子どもたちからの興味関心から始まった取り組みで子どもたち全員が主体的に発言や意見を出し合っていた。一つずつの実験も分量を確認しながら疑問に思ったことを声に出したり、お友だちと相談する場面もあった。活動を通して子どもたちの興味や探求心が更に伸びたこと感じた。子どもたちの普段からの疑問の声を広い今後も実践していきたいと感じた。